

石川県国際交流センター 中期経営目標

(実施期間 平成30年度～平成34年度)

平成30年3月 策定

1 施設の設置目的

本県の国際交流・国際協力と日本語・日本文化研修並びに国際情報サービスの拠点としての役割を果たすことを目的として設置されており、県内国際交流団体や外国人住民等のための各種の研修や団体の活動拠点となっています。

2 施設の果たすべき役割

外国人住民と日本人住民とが共に生き生きと安心して暮らせる社会づくりを推進するため、外国人住民と日本人住民の交流を深める機会を提供する役割があります。

日本語・日本文化研修により、外国の方々に伝統文化や豊かな自然を知り、体験していただき、本県の魅力を世界に発信していただくための拠点としての役割があります。

3 事業内容

(1) 国際交流・協力事業

ホームステイ、通訳・翻訳、災害時の語学サポーターなどの国際交流ボランティアの育成、国際交流員による母国語や文化等を紹介する外国語講座の開設、国際情報ライブラリーの運営や情報掲示板の設置など、日本人住民と外国人住民の交流を推進するための様々な取り組みを行っています。

(2) 日本語・日本文化研修センター事業

世界中から、日本語を勉強している方、また、日本や日本文化に関心がある方々を迎え入れ、ホームステイをしながら日本文化体験も織り交ぜた日本語研修を行っています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- 施設の利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務を指定管理者が行っており、日本語・日本文化研修をはじめとする国際交流にノウハウと実績がある「公益財団法人石川県国際交流協会」を指定管理者として指定しています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- 利用者数は、年間5万人前後を推移していますが、明確な利用者の増加には至っていないことから、今後は、利用拡大のための取り組みを強化していく必要があります。

- ・ 指定管理者である公益財団法人石川県国際交流協会は、通訳・翻訳ボランティアの募集・研修等を行っており、その育成と活用による効果的な事業運営が必要です。
- ・ また、現在、公益財団法人石川県国際交流協会では、外国人住民の利便性向上を図るため、ホームページを通じた外国語が通じる医療機関などの多言語による情報発信や、外国人住民に対する日本語教室の開催、行政書士・弁護士による生活・法律無料相談などの様々な施策を行っており、引き続き、外国人住民の利便性の向上を図ることが必要です。
- ・ さらに、海外から日本語研修生を受け入れ、一般家庭でホームステイをしながら日本語研修と日本文化体験プログラムを提供する日本語・日本文化研修センター事業の充実が必要です。

(3) 施設運営の効率化について

- ・ 職員一同、コスト意識を高く持って、経費節減に継続的に取り組む必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H26~28平均)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
① 利用者数		51,800人	53,400人	54,400人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	97.9%	95%	95%
	施設の維持管理	98.7%	95%	95%

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・ 石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラムについて、日本語講師の指導力向上を図り、分かりやすい講義を提供するほか、独立行政法人国際交流基金と連携し、基金の海外ネットワークを活用し、海外大学へのPRを強化します。
- ・ 国際交流センターの利用促進を図るため、ホームページのほか、イベント・会議の場など、様々な機会を捉えてセンターの周知に努めます。
- ・ 外国人観光客を対象とした催しの開催や印刷物の作成など、通訳・翻訳ボランティアの活動の場が増加していることから、引き続き、ボランティアの確保・育成に努めるとともに、派遣・協力依頼を頂いた場合は、適切なマッチングに努めます。
- ・ 多言語による情報発信、外国人住民に対する日本語教育支援や生活等に関する無料相談の機会の提供のほか、外国人住民と日本人住民が相互理解を深める国際交流イベントの実施などを通じて、県民の多文化共生に対する意識をさらに高めるよう取り組みを継続していきます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・ 費用対効果を勘案しつつ各種事業を実施するとともに、リファーレの他の入居者と連携・協力しながら、共益費の削減や建物の計画的な修繕を進めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

(単位:人)

項目	H26	H27	H28
国際交流センター利用者数	51,761	50,603	53,035
国際交流サロン利用者数	28,885	29,415	28,766
国際交流ラウンジ利用者数	7,171	7,520	7,652
国際交流ボランティア登録者数	678	681	690
日本語・日本文化研修参加者数	361	369	337

(2)利用者アンケート指標

<利用者サービス>

(単位:%)

項目	H26	H27	H28
良い	77.7%	66.3%	72.6%
概ね良い	19.5%	33.2%	24.5%
計	97.2%	99.5%	97.1%
やや悪い	2.5%	0.5%	2.9%
悪い	0.3%	0%	0%

<施設の維持管理>

(単位:%)

項目	H26	H27	H28
良い	74.8%	66.0%	63.6%
概ね良い	23.1%	33.0%	35.5%
計	97.9%	99.0%	99.1%
やや悪い	1.8%	1.0%	0.9%
悪い	0.3%	0%	0%

(3)使用許可等の状況

(単位:件)

項目	H26	H27	H28
貸館件数	309	287	229
(うち使用料徴収件数)	85	129	60

(4)使用料の収入実績

(単位:千円)

項目	H26	H27	H28
貸館使用料	529	634	309